

今日のシライ中

本の翼

白井中学校図書室から VOL.41

3年生の皆さん、お疲れさまでした！人生初の大きな試練、立派に乗り越えましたね。さて、今回は、そんなお疲れさまの皆さんにもクスッと笑ってもらえる、そんな2冊を紹介します。読んでみてね！

『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』 神田 佳一 菊池 良

徹頭徹尾、だから何よ。と言われたら、ごめんなさい。と言うしかない、そんな1冊です。ただ登場する作家、有名人 etc、への惜しみない愛を感じられること、間違いなし。そもそも、発想がおかしいでしょう。(何なら、このパロディで、〇〇の作り方を書いたら のような本が書けそう。そう思ったあなた！どうして、どうして。それらしく書くためには、その作者の本を結構読んでいないと難しいです。) さて、中からいくつか紹介しましょう。

例えば、「コナン・ドイル 湯切りの研究」(もちろん、シャーロック・ホームズの作者です。「緋色の研究」)『この部屋の主はカップ焼きそばを食べたようだね。』から始まって、使った調味料、キッチンの流しのわずかな温度…等々のことから、部屋の住人がカップ焼きそばを食べた証拠を次々と挙げてみせるその手腕、お見事！例えば、「グリム兄弟 メンデレラ」(もちろん、シンデレラ!) 舞踏会に行けない娘。「鳥さん、鳥さん、私を助けて」すると、黄金の鳥が羽を鳴らして飛んできて、娘にカップ焼きそばを渡した。「…お湯を持ってきて」湯切りをしてソースを混ぜて食べた。その様子をたまたま見ていた王子さまは感動し、(どこの部分にですか!) 娘に求婚した。他にも、「求人広告風」「さくらももこ風」「インスタグラム風」…。よくぞここまで考えたなあ、と感心してしまいます。発売当初、だいぶ話題に上った本です。



『ドラえもん短歌 柊野 浩一 選』

今年も白井中全員で、「全国短歌フォーラム」に参加しましたね。さて、今から紹介するのは、少し変わった歌集です。この歌集には、2005年に行われた「ドラえもん短歌コンテスト」の入選作が掲載されています。いくつか紹介してみましょう。「ドラえもん あの人好みの顔にして！そっから先は自力で頑張る」「君とした『ひみつ道具はどれが好き？』みたいな話ばかり思い出す」「ドラえもん ごっこをしてただけだから 押し入れで泣くわけがないから」「ドラえもんが好きだといえる人だった 羨ましくて にくらしかった」「ぼんやりといろいろな桜を見て歩き どこでもドアで帰る休日」「青空の入道雲はそれはもう配色としてドラえもんです」「のび太くんみたいに泣けば 君がきて 助けてくれると思ってたんだ」

「目の前にどこでもドアがあったなら それを理由に会いに行きたい」「自転車で君を家まで送ってた どこでもドアがなくてよかった」…。もう、素敵な短歌のオンパレードで、やめられない、止まらない状態に突入です。「ドラえもん」から発想を飛ばして詠まれたたくさんの短歌。これなら、短歌がより身近で、楽しくなりそうではないですか！「キュン」がたくさん、ですね。あなたも詠んでみませんか？(歌集の中では、貸し出し数が一番多い作品です。)

